

国立感染症研究所 概要

第137回 科学技術部会

資料3-1

令和5年12月7日

《設置目的》

広く感染症に関する研究を行い、国の保健医療行政の科学的根拠を明らかにする。

《沿革》

昭和22年 5月 予防衛生研究所として、東京大学附属伝染病研究所（現 医科学研究所）庁舎内に発足

昭和30年 3月 品川区上大崎に移転

昭和36年 3月 武蔵村山市に村山庁舎を新築

平成4年10月 品川区から新宿区戸山へ移転

平成9年 1月 ハンセン病研究センター（旧国立多摩研究所）を合併

平成9年 4月 国立感染症研究所に名称変更

《主な業務》

- ①『感染症に関わる基礎・応用研究』
病原体の分子生物学的解析や迅速診断法、ワクチンの開発など
- ②『感染症のレファレンス』
感染症に関する検査、正確な病原体検査に必要な全ての活動
- ③『感染症のサーベイランス業務と感染症情報の収集・解析・還元と提供』
全国の地衛研及び感染症法に基づく定点診療所等からの情報の集計評価・提供
- ④『国家検定・検査業務と生物学的製剤、抗生物質等の品質管理』
生物学的製剤（各種ワクチン、血液製剤）の国家検定及び行政上必要な検査、標準品の交付など
- ⑤『国際協力関係業務』
世界規模での情報提供、研究・技術面での国際貢献など

《基礎データ》

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
定員（年度末）	361人	362人	716人	716人	716人
うち研究員	305人	306人	598人	598人	598人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（当初）	59億円	63億円	103億円	98億円	89億円
うち研究事業費等	20億円	22億円	34億円	31億円	33億円

※施設整備費を除く。（施設整備費 R1:2億円、R2:2億円、R3:3億円、R4:2億円、R5:3億円）

《外部研究資金》

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外部研究資金	24億円	32億円	33億円	33億円

《主な研究成果》

年度	誌上発表	
	欧文	和文
令和2年度	699	218
令和3年度	770	191
令和4年度	758	155

《検定検査等実績》

年度	国家検定		行政検査		製品交付
	受理	判定	受理	判定	
令和2年度	748	760	4,582	1,947	2,520
令和3年度	1,018	1,025	970	3,277	2,056
令和4年度	987	975	824	820	1,801

《組織図》

所長
↓
副所長

総務部
ウイルス第一部
ウイルス第二部
ウイルス第三部
細菌第一部
細菌第二部
細菌第三部
寄生動物部
感染病理部
真菌部
細胞化学部
昆虫医学部
獣医学部
品質保証・管理部
安全実験管理部
国際協力室
研究企画調整センター
感染症疫学センター
エイズ研究センター
病原体ゲノム解析研究センター
インフルエンザ・呼吸器系
ウイルス研究センター
薬剤耐性研究センター
感染症危機管理研究センター
治療薬・ワクチン開発研究センター
実地疫学研究センター
次世代生物学的製剤研究センター
ハンセン病研究センター
感染制御部